



風薫る5月

年度当初の慌ただしい4月を終え、5月になりました。この時期は、野山や教室をすがすがしい風が吹き抜け、いろいろな活動をするのに適した頃です。新型コロナの感染防止・拡大防止に努めながら学校での活動を充実させていきたいと思えます。特にゴールデンウィークが明けると、運動会（5/21実施予定）の練習が本格化します。より一層のお子様の体調管理をしていきましょう。

「あいさつは、たった一秒で通じ合える言葉」

4月の「生活のめあて」は、『大きな声であいさつをしよう。』でした。上級生の児童がお手本になるようにがんばったり、各学級で毎日振り返りをしたりして「あいさつ」を重点的に取り組んだ1か月でした。ご家庭や地域ではいかがだったでしょうか。

実は、「あいさつ」に関しては令和3年度の学校評価アンケートでの肯定的評価が、

- ・児童「わたしは、進んであいさつをしている。」 92.9%（前年度+14.9%）
- ・保護者「子どもは、進んであいさつができています。」 82.1%（前年度+7.4%）

という結果が出ています。前年度に比べ良くなっており素晴らしいことだと思います。ただ、結果から気になるのが、他の項目と比較して、児童と保護者の肯定的評価の差が大きいということです。

子どもたちから見て、「あいさつしたつもり」でも、相手に声や態度が届いていなかったかもしれません。あいさつがしっかり相手に伝わるように、『大きな（しっかりとした）声で』『相手を見て（意識して）』あいさつができたと思います。

学校でもこれらのことを意識しながら指導をしていきたいと思えます。また、今後児童会（運営委員会）が中心となり、「あいさつ運動」にも取り組んでいきます。



今年度もお世話になります（青パト見守り隊顔合わせ）

4月13日（水）の下校時に、青パト見守り隊の皆さんとの顔合わせを行いました。青パト隊は、2015年から活動を始められ、現在27名の方が、青パト25台で活動されています。登下校時や、子どもたちの地域での安全・安心のために、毎日ご尽力いただいています。大変ありがとうございます。感謝の気持ちでいっぱいです。

（校長 田井 徳彦）

